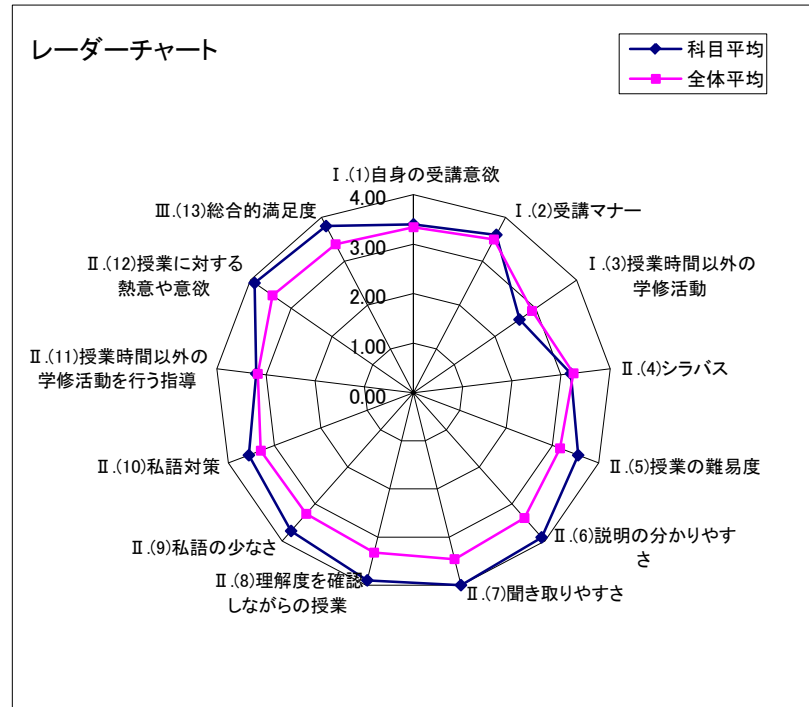
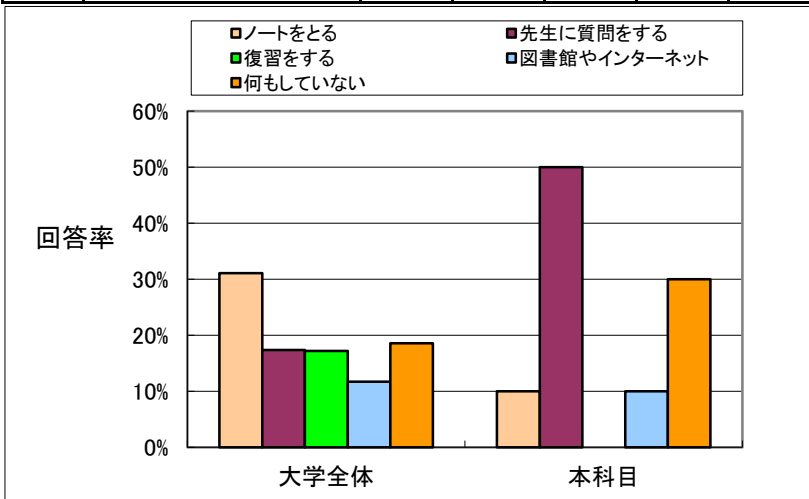


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

設問No.	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14) 授業を理解するための工夫	10.0	50.0	0.0	10.0	30.0



設問No.	科目平均	全体平均
I.(1)	3.40	3.34
I.(2)	3.60	3.49
I.(3)	2.60	2.91
II.(4)	3.20	3.26
II.(5)	3.56	3.16
II.(6)	3.90	3.38
II.(7)	4.00	3.46
II.(8)	3.90	3.32
II.(9)	3.73	3.27
II.(10)	3.56	3.30
II.(11)	3.20	3.17
II.(12)	3.90	3.46
III.(13)	3.80	3.39

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.20	3.25
講義内容・方法 II.(4)~(12)	3.66	3.31
総合評価 III.(13)	3.80	3.39

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2012年度 後期
時間割番号	2254
科目名	日本経済史(水2限とセット)
教員名	

①授業計画の達成度について
 少人数での授業であったので、学生の興味関心を反映して相当シラバスを変更して講義した。その点が反映したアンケート結果であろうと思う。本質的な目標は変えずに学生の理解度に応じて講義をすすめることができたので、結果として、高い学生の満足度(満点比95%)につながったのではないかと思います。Tお
 日本経済史の到達目標は資格関連の授業のような絶対的な評価を伴うものではなく、基本的な知識の教授を基礎として、それぞれの学生が問題意識をどこまで深められるかということにかかわる。そういう意味では学生に合わせた講義ができたことは非常によかったと思う。

②授業の進め方について
 設問6, 7, 8についてはほぼ満点のアンケート結果を得た。これは少人数でちいさな教室での講義であったので当然ともいえる。学生との対話を重視して授業を進めた結果、知識の深さとはもかく、授業の進捗については予定よりも滞ることが多かった。工夫の余地があると思われるが、ある程度はバスターであると割り切らざるを得ないかもしれない。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について
 今回のアンケートは例年以上に高い評価をもらった。やはり受講生が少ないことが大きく効いているのだと思う。上記の方法は多人数での授業では応用できないと思われるので、その点については今回の好評価を額面どおり受け止めることはできない。大教室の多人数対象の授業の工夫はまた別の観点から考えたい。